

都市のシンボル軸 景観形成のコンセプト

都市のシンボル軸は、本市の顔としての魅力や活力を印象づける、平塚駅北口から、市役所などの行政機関や文化施設などの集積した地区を経て総合公園に至る区域です。景観づくりの基本方針は、都心の顔となるシンボル軸の形成と公共施設のシンボル性の創出を図り、緑豊かなまちなみの形成を目指します。

① 周辺との関わりを考える

位置・配置

■ 建物

- 周辺の建物と壁面のラインをできるだけ揃え、沿道のリズムを乱さないようにしましょう。
- 北口駅前や駅前大通り沿いの商店街では、セットバックし、人々を引き込み、対流させる空間を確保しましょう。
- まちかどの建物は、角地部分の壁面後退距離を大きくとり、まちかど広場の創出に努めましょう。

■ 駐車場

- まちなみやそのにぎわいを分断する駐車場の出入口は、通りに面して設置しないようにしましょう。やむを得ない場合は、出入口を一箇所に集約して出入口の面積を最小限にし、植栽を設けたりデザインを工夫するなどして、にぎわいの連続を確保しましょう。

■ 鉄塔・煙突

- 公園通りに面する工場は、鉄塔・煙突は通りから目立たない位置に配置し、色彩は周辺環境との調和に配慮しましょう。

高さ・規模

■ 建物

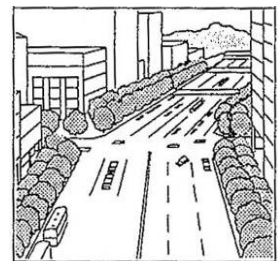
- 建物のスカイラインは、連続性のある高さとしましょう。

② 質を高める

外構・緑化

■ 緑化

- 総合公園から続く緑の連続性の創出を図るため、周辺の施設の敷地内に総合公園の緑量と同程度の植栽を通りに面した部分に行いましょう。その場合、樹種は、周辺の街路樹や植栽、特に平塚八幡宮の杜や総合公園の植栽との連続性を考慮し、それと調和したものをを用いるようにしましょう。
- 通りに面する境界部へ植栽を行う場合、樹種は、平塚八幡宮の森に調和した緑豊かなイメージをめざし、彩りのある花木（例えば平塚八幡宮付近のヤエザクラ並木等）を用い、四季の変化が感じられる落葉樹等を用いるようにしましょう。



- まちかどに設けた空地には、木かげを創出したり、まちかどのめじるしとなるよう、シンボルツリーを設置しましょう。

■ 工場の外構

- 通りに面する工場のブロック塀や金網フェンスは、撤去又は後退し、道路沿いには、周辺の街路樹等と調和した遮蔽効果のある植栽を行いましょ。やむを得ずフェンス等を設置する場合は植栽の内側に設置するようにしましょ。



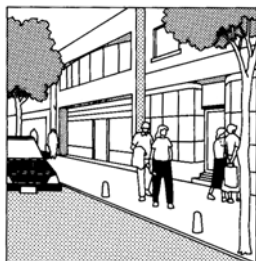
右写真：沿道にバラを植栽している事例

③ まちなみを彩る

形態・意匠

■ 建物の形態意匠

- 建物は、都市の顔となるシンボル性に配慮し、周辺に圧迫感を与えないデザインとするよう努めましょ。
- 都市のシンボル軸内のデザインは、一階部分の軒高や見切り線をそろえるなど、通りからの見え方に配慮しましょ。



- ランドマークとなるまちかどの建物は、まちかど広場と合わせて、地域の特性に配慮したデザインの建物としましょ。
- 大門通りや不動通りでは、参道としての特徴をいかし、歴史の感じられるデザインを取り入れましょ。

■ 建物の色彩

- 建物の色彩は、周辺と調和しない原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょ。
- 平塚八幡宮の杜や街路樹の緑との調和に配慮した色彩にしましょ。
- 伝統色は地域性に根ざしたものであり、自然や周囲の環境とよく調和します。大門通りや不動通りでは、これらを積極的に活用し、風格と落ち着きをもたせましょ。

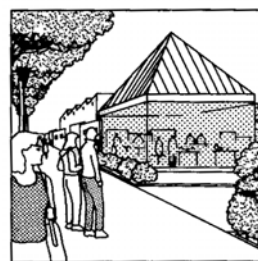
その他

■ 広告物・サイン

- 広告物は、雑然とした印象とならず、すっきりと存在感を主張できるよう、数や大きさ、色づかいなどのデザインを工夫しましょ。
- 周辺の環境や設置する建物との調和を図りましょ。
- 広告物のデザインは、平塚八幡宮の森の緑との調和に配慮しましょ。特に色彩は原色や突出色を避け、まちなみや建物と講和した落ちついたものとしましょ。
- サインは必要な情報の伝達のみでなく、わかりやすさ、適切な配置と内容・美しさ・周辺環境との調和をもった統一と秩序あるものに配慮しましょ。

■ 演出

- 時間帯や季節・場所に合わせて、ライトアップを行うなど、地域の特性を感じさせる魅力的な夜景づくりを行いましょ。
- 都市のシンボル軸では、周辺の環境を考慮して、目に見える風景とともに存在する、その場にふさわしい音を大切にしましょ。また、空間的な余裕がある場合は、自然を感じさせる水音の演出なども効果的に活用しましょ。
- まつりやオープンカフェなどを開催し、にぎわいのある景観づくりを行いましょ。
- ショールームを設置したり、製造工程が見学できるようにするなど、地域に開かれた工場空間としてイメージアップに心がけましょ。



- 休業日の工場敷地内のオープンスペースの一部開放等、積極的に市民の憩いの場となる広場を創出しましょ。